

(4) 類似事業の有無

- ・ 類似事業なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,763	急性期治療が終了した救急患者の転院先コーディネートに対する補助金
合計	10,763	

決定額の考え方

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県保健医療計画（第7期）

第3部－第2章－第6節救急医療対策－7今後の施策

『救急医療から療養の場への円滑な移行がなされる体制づくりを促進するため、救急医療機関が行う退院調整に要する経費に対する支援を行います。』

(2) 国・他県の状況

- ・ 厚生労働省は、医療提供体制推進事業費補助金に個別メニュー（救急患者退院コーディネーター事業）を設け、救急医療提供体制の充実化を推進している。

(3) 後年度の財政負担

- ・ 国庫補助金を活用し、事業実施要望があればこれに補助する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 保健医療計画上、初期・二次救急医療機関による救急医療体制の構築・運営への支援を明記していることから、事業主体が県であることは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
① 1日平均退院患者数(人)	625.0人 (H26)	614.5人	632人	650人	650.0人 (R4)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 取組内容 高山赤十字病院、松波総合病院、木沢記念病院、鷺見病院において、救急患者退院コーディネーター事業を実施。 成果 地域の医療機関や県外の医療機関との連絡調整を行い、急性期治療を終了した患者の退院調整を行う地域連携室等が設置されている。
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	救急患者退院コーディネーターの配置は、増加傾向にある救急搬送患者に対する迅速かつ的確な医療提供に繋がるため、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	平成28年度から事業を実施しているが、指標となる数値が集計されていないため、有効性を判断できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	地域連携室等を設置して、入院患者の円滑な転院・転棟に取り組む医療機関に補助している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 救急搬送患者数は増加傾向にあるため、救急医療用病床の確保対策が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 救急医療用病床の確保に資する事業であり、継続する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	